

おうらまち

議会だより



高島幼稚園の新春もちつき

平成25年12月定例会

平成25年度補正予算可決（一般会計・各特別会計）

一般質問 【8人の議員が町の考えを問う】

小沢泰治議員、神谷長平議員、松村 潤議員、原 義裕議員
坂井孝次議員、塩井早苗議員、大野貞夫議員、小島幸典議員

- 可決された議案…………… 3
- 一般質問…………… 4～11
- わたしのふるさと等…………… 11～12

No138

町民の目線に立った 議会活動を目指して

年頭のあいさつ



議長 本間恵治

明けましておめでとうございます。平成26年の初春を迎え、町民皆様にとって素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます。

さて国内においては、アベノミクスによる緩やかな景気の回復が感じられます。しかし、安倍政権の成長戦略の真価が問われるのは今年ではないでしょうか。円安により輸出産業の業績は改善され、日経平均株価も年間で56.7%上昇しましたが、輸入産業はコスト増から業績が下降しています。

今後ますます進む少子高齢化が、社会や経済に及ぼす影響は計り知れません。4月からは消費税率8%が実施されます。増税と物価高により、年金暮らしや生活保護を受けている方々など社会的弱者は、苦しい生活を強いられることが予想されます。そうした中、2020年東京オリンピックの開催が決定したことは唯一の明るい話題です。

議会では、町提出議案を町民の目線に立って慎重審議し、行政効率や投資効果の上がる地域振興施策の実現に向けて努力してまいります。町民の代弁者たる本分を忘れず、町行政が正しい方向に進むよう職責を全うすることを町民の皆様にお誓い申し上げます。年頭にあたりご挨拶いたします。

謹んで新年のお慶びを申し上げます

議長 本間恵治
副議長 田部井健二

総務教育常任委員会

委員長 岩崎律夫
副委員長 坂井孝次
委員 立沢稔夫

小島幸典
神谷長平
松村潤

産業福祉常任委員会

委員長 大野貞夫
副委員長 半田晴
委員 細谷博之

小沢泰治
田部井健二
原義裕
塩井早苗

可決された議案

〔条例の改正等〕

太田市外三町広域清掃組合の規約変更に関する協議について

伴う公社債・株式等の所得に対する課税の見直しなど条例を整備しました。

新ごみ焼却施設の建設準備に伴い、共同処理する事務規定や事務費の負担割合について、組合規約を改正しました。

邑楽町後期高齢者医療に関する条例の改正

邑楽町介護保険条例の改正

地方税法の改正により、延滞金の割合が引き下げられ、これを準用している後期高齢者医療及び介護保険の保険料延滞金について改正しました。

〔邑楽町課設置条例の改正〕

社会情勢の変化による様々な行政課題に対応するため、15課（2局13課）を16課（2局14課）に組織再編しました。

生活環境課↓安全安心課

保険年金課↓健康福祉課

福祉課↓子ども支援課

産業振興課↓農業振興課・

商工振興課の2課に再編

〔邑楽町税条例の改正〕

地方税法の改正に伴い、個人住民税の公的年金からの特別徴収税額の算定方法や金融所得課税の一本化に

〔条例の改正〕

地方税法の改正に伴い、延滞金の割合の特例が見直され、本条例の使用料等の督促及び延滞金の割合の特例について改正しました。

邑楽町議会委員会条例の改正

課設置条例の改正に伴い、

産業福祉常任委員会の所管する課名を改正しました。

邑楽町議会広報委員会設置条例

法定外委員会である広報委員会に、法的な根拠を備えるため条例を定めました。

町道の路線認定及び廃止について

国道354号拡幅工事等に伴い、町道の路線認定及び廃止をしました。

〔契約締結事項の変更〕

石打町営住宅新築建築工事（二期工事）

契約金額（消費税込）

2億1682万5千円から

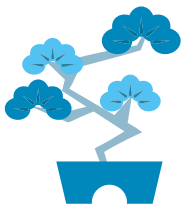
2億1685万6500円

に変更

（3万1500円増）

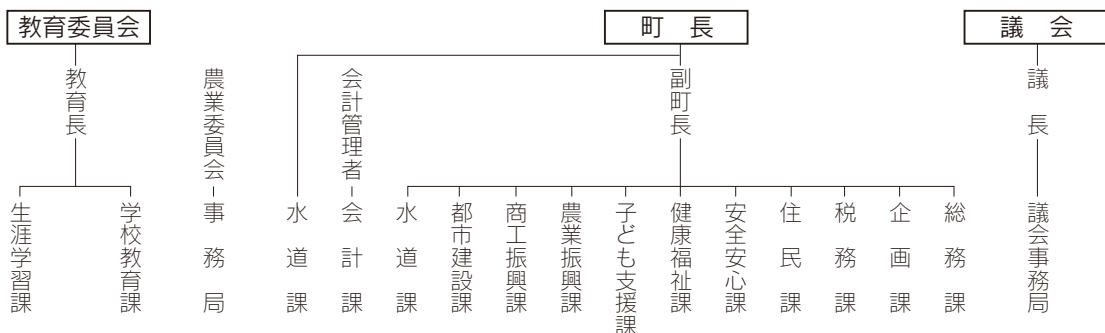
※工事概要

外廊下及びバルコニーのアルミ製手すりの設置方法と物干し金物の変更



平成25年度補正予算額

会計別	予算現額	補正額	予算総額
一般会計	79億7,182万円	6,404万円	80億3,586万円
国民健康保険特別会計	31億6,960万円	8,307万円	32億5,267万円
後期高齢者医療特別会計	2億0,439万円	208万円	2億0,647万円
介護保険特別会計	17億1,533万円	44万円	17億1,577万円
学校給食事業特別会計	2億5,040万円	△22万円	2億5,018万円



邑楽町役場組織機構図

平成26年4月1日施行

一般質問

一般質問は、12月10日及び11日に行われました。質問には、8人の議員が登壇し、町の行政事務などについて執行部の考えをただし、活発な議論が行われました。

邑楽町政の重点課題は何か

小沢泰治議員 町長に就任して6年だが、毎年毎年人口が減り続けている。このままでは邑楽町が元気になるはずがない。それを解消するために何をしたらいいか。進行中の事業について聞きたい。

町長 石打の町営住宅は、町民の皆さんへの住宅供給ということ、1期工事が終わり、2期工事が進行中である。長柄幼稚園の改築工事、中央児童館の建設事業、道路等のインフラ整備も行っている。

小沢泰治議員 邑楽町が活性化するために、特に道路整備なくして発展なしと思う。国道354号バイパスの過日の開通、非常に車の流れが激しくなっている。大根村の交差点も工事中。そのほか町の事業として、町道19号線の一部開通、鞍掛第3工業団地が国道354号につながる道路、また橋のかけ替え等。ぜひ、そういうものを邑楽町として有効活用し、町の発展につながり、元気が出るような施策、国道354号バイパス、国道や県道の両側の用途区域の見直し等、私の過去の一般質問で積極的に実行し、邑楽町の発展につながればと提案してある。町が元気になるために、町長はどのようなことを考えているのか。

町長 国道354号バイパス、県道両脇の用途区域の見直しは、都市計画法に基づいた市街化区域や調整区域が設定されている。それらを段階的に踏む中で区域設定しないと、用途区域の見直しはまず現状ではそこまではいかない。今後、国や県の状況に合わせて情報が整理されないと、なかなか具体的に進むことはできない。

小沢泰治議員 町長の話を聞くと、外部からこうだあ、あだということに基づいて、では邑楽町としても何をするかというスタンスだと思ふ。こんないい場所を人口を減少させるのは、やはり行政側の取り組みが不十分にあるのではないかと思う。国道354号から孫兵衛川上流を見れば、左側が松の木、右が非常に耕作しにくい農用地になっている。孫兵衛川の右の農地について、どのような状況にあって、今後、町長が自分だったらどうするか言うことがあれば聞きたい。

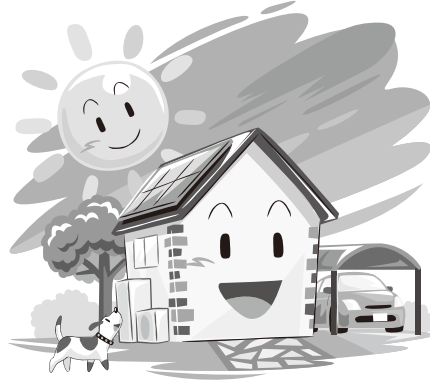
町長 今の時点で考えた場合、農業振興エリアの中で水が孫兵衛川に排水され、容易に農作業ができるような環境を整えてやること

神谷長平議員 都市再生整備計画事業の交付対象となる事業は、どのようなものがあるのか。

都市建設課長 交付対象事業は多く、26の分類がある。都市施設としての公民館、公園、道路、河川、下水道、区画整理などがある。

神谷長平議員 都市再生整備計画事業は全国の市町村で対応している。事業期間

町長 中央公民館建設について、平成8年と21年に多数の町民から請願と要望書が出された。町の総合計画でもその計画がなされている。



が、現時点では一番ベストの状態になる。

る。そのことを踏まえたときに、一日も早くその施設整備を行い、町民の皆さんに有効に利用していただくことが大切ではないかと考え、期限設定をした。

指導を受け、若干ではあるが基金を積み立て、できるだけ将来負担をなくすようにと考えている。

神谷長平議員 先日の全員協議会で、邑楽町中央公民館建設基本構想や基本計画案の報告があった。整備事業費の財源内訳は、本体工事が16億円、設計監理・外構・備品費用等3億円、合計で19億円という事業予算の説明を受けた。その中で基金からの繰り入れが3億8千万円、補助金7億6千万円、地方債(借金)5億7千万円、一般財源の繰り入れが1億9千万円と説明された。地方債の借り入れの2割が交付税で措置されるが、借金は残る状況である。事業期間を長くとり、基金を増やし、起債を少なくするよう努力が必要ではないのか。

神谷長平議員 邑楽町第五次総合計画が平成27年度で終了の予定になっている。地方自治法の改正により、基本計画の策定は市町村の独自判断になったが、町は将来の基本計画を策定する予定があるのか。

町長 平成28年度以降の総合計画については、町の事業を執行する上で基本計画を立てて、その計画に基づいて仕事を進めていくことが大切なことである。

神谷長平議員 行政の状況を良く熟知したコンサルタントや大学の教授に町の現状を見ていただく。その中で、将来の町の姿はどうあるべきかアドバイスを受け、職員全体の意識改革を行い、これからの本心に厳しい時代に向けて、明るく元気の出るような基本計画の策定をしていただきたい。

**町民の意見を
計画に反映**

町長 この10力年の総合計画は将来的な状況を見据え、とても大切なことになる。町民の皆さんの意見をその計画の中に十分反映し、実行に移せる基本計画をつくっていきたい。

がん対策(胃がん)について

町長 9月定例会において、社会教育施設整備基金の設置を認めていただいた。昨日の補正予算の中で

松村 潤議員 国民の2人に1人ががんになり、3人に1人が亡くなると言われている。昭和56年から死亡原因の第1位はがんであ

り、国民病とも言われている。また、主な発症部位別では肺、胃、大腸がんがトップスリーである。がんは怖い病気ではあるが、現在で

は医療の進歩により、早期発見、早期治療すれば不治の病から治る病気になってきた。胃がん検診について、受診率の目標は定められているのか。

松村 潤議員 胃がんは生

松村 潤議員 国の目標値は40%であるが、当町においては平成24年度は18・3%となっている。

松村 潤議員 胃がんは生

松村 潤議員 国の目標値に対して、大分差があるようだが、受診率の向上が進まない理由について、どう考えているか。

松村 潤議員 高崎市では平成23年度から検診として、この胃がんリスク検査を開始した。バリウムを飲むレントゲン法に比べ、食事の制限もなく、わずかな血液を取るだけで診断ができる。手軽さが受けて、多くの方が受診し、検診率が非常に伸びている。増え続ける医療費の抑制を図り、胃がんで亡くなる人を少なくするためにも、リスク検査を進めるべきだと考えるが。

松村 潤議員 胃がん検診は、バリウムを飲むことに対する抵抗や飲んだ後の自己管理等の理由により、受診率は減少傾向にある。目標達成は厳しい状況である。

松村 潤議員 胃がんは生

松村 潤議員 胃がん検診の実施方法等内容を含め、検討する必要がある。

松村 潤議員 胃がんは生

中央公民館建設について

菌によって発症する感染症である。ピロリ菌の検査や除菌することにより、胃がん対策の有効性が明らかになっている中で、旧態依然とした取り組み方では、検診受診率を上げることができない。今の時代に即した一次予防としての除菌と二次予防としての検診を組み合わせたことで、受診率が上げられ、早期発見につながる。結果として、町民の健康を守り、医療費の抑制にもつながられると考えるが。

ABC検査を検討

町長 胃がんリスクABC検査については、予防医療の観点から必要性を認識している。今後、十分検討していきたい。

その他の一般質問
・肺炎球菌ワクチン公費助成について

原 義裕議員 中央公民館建設は、誰のためなのか。
町長 生涯学習活動を進めていく拠点ということ、町民皆さんのためと考えている。

原 義裕議員 以前、建設に当たって、1万有余の要望署名をいただいている。議会も建設に当たって同意し、勉強会も開いている。生涯学習課長に聞きたい。署名を受け取った後、建設に当たっての要望について、聞いたことがあるか。

生涯学習課長 町民の要望や建設計画への反映は、建設検討委員会の中で、意見を伺っている。町民に対しての建設アンケートや意識調査等は行っていない。

原 義裕議員 具体的な建設についての要望を町民から聞いていない。検討委員会に予算から建物の規模や

場所等の検討を全てお願いするとしたので、議会としては検討委員会の設置を承認したと思う。

町長 用地については、役場庁舎の西、図書館の南側、建設工費は15億から16億円、建坪も約3千平米と考えている。大きな財政負担にもなるので、十分検討し、町民の負担を少なく考えている。邑楽町都市再生整備計画事業(まちづくり交付金)の申請を行い、国で協議していただいている。

原 義裕議員 私が聞きたいことは、検討委員会に参考としてこの条件を提示し、検討するように依頼したのか。

町長 議会にお示ししたとおり、建設費15億から16億円と説明し、上限としてお願いした。

原 義裕議員 検討を依頼

休憩室

REST ROOM



森戸 恒治
(新中野・33区)

新中野体協としての思い出

私が、町民体育祭を観に行った時の話です。プログラムにあった行政区対抗リレーをみた時に、小学生や中学生、高校生は現役の児童・生徒なので、楽しんで走っていました。しかし、社会人の20歳代から50歳代の人たちになると、転んだりバトンを落としたりと大変でした。

私は、新中野体協役員として、選手や地区の携わっている人達と話し合い、バトンを作って、地元にある緑ヶ岡公園にて何回も何回も繰り返し練習を行いました。

町民体育祭に参加して33区新中野は、優勝を8回(連続6回を含む)することができました。

野球・バレーボール・卓球と地区体協の関わる競技種目がありますが、地区体協役員として14年間やらせていただき、大勢の人と触れ合うことができました。これからもOBとして応援していきたいと思えます。

したと言うことは、誘導尋問にかけたようなものだ。また、建設費は決定していない。20億円の仕事を行うと補助金が40%出る。20億円引く1億円で19億円が中央公民館。20億円事業のうち、8億円が補助金で、12億円の支出により公民館ができるというが、これは違うと思うが。

町長 中央公民館建設予算は19億円で、公園に8900万円、道路その他で1100万円、合計20億円で概算要求を申請している。

原 義裕議員 15億から16億円を上限として検討を依頼しているというのは、一般的には全てである。後から、外構・備品・建設設計料であるとかでは納得できない。建設要望の署名者からはいくらで建設して欲しいという言葉はない。今後、人も税収も減少する。将来、子ども達に負担を半分背負わせるのはいかがなものか。

町長 検討委員会で11回の検討をいただき、その答申

を11月29日、議員にお示ししたが、事前に説明すべきであった。素直に謝りたい。

町長 誤りのない行政執行を行っていく。ご協力をお願いしたい。

原 義裕議員 まちづくりは町民全体で行うもので、議会と執行部は両輪である。調和のあるまちづくりを目指して欲しい。

その他の一般質問
・町の機構改革について

誤りのない行政執行

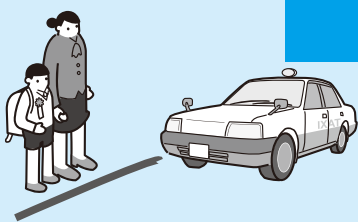
国道354号沿線の

開発について

坂井孝次議員 平成24年12月の議会でも質問したが、大型店が14年前から国道354号沿線に進出を希望している。現在でも、地権者から町に陳情書や要望書も添えての開発依頼があるというものであった。そのとき町長からは「過去14年間に集積が図られないことを考えれば、現時点では難しい。」との回答をいただいた。しかし、私は邑楽町を

元気にするためには、マスタープランにある新市街地の開発を進めることが一番効果的であるとの考えから、再度質問をさせていた。過去に提出された陳情書と要望書への回答は、いつ、どこで、どのように行われたのか。
都市建設課長 いつ、どこで、どのように行われたかについては、大変申しわけないが、過去のやりとりの

地域の輪



私は、これからも地域の「輪」を大切にしていきたいと思えます。

昨年、高齢者施設などで行います。「始まり、始まり。本日の出し物『ストップパンドちゃん』他二本立てです」。紙芝居が始まると、子ども達の目がかがやき、物語の中での交通ルールをしっかりと学んでもらえたようで、私達も安堵の気持ちでいっぱいです。

休憩室

REST ROOM



増尾美伊子 (西ノ根宮内中島・24区)

昨年の2013年を表す漢字は「輪」。2020年東京五輪の開催決定や富士山の世界文化遺産登録など「日本中が輪になって歓喜に沸いた年」でした。私は、大泉交通安全協会の役員のひとりとして、春夏秋冬の交通安全運動に参加させていただいています。

「紙芝居や八木節踊り」を保育園、幼稚園、高齢者施設などで行います。

「始まり、始まり。本日の出し物『ストップパンドちゃん』他二本立てです」。

紙芝居が始まると、子ども達の目がかがやき、物語の中での交通ルールをしっかりと学んでもらえたようで、私達も安堵の気持ちでいっぱいです。

です。

私は、これからも地域の「輪」を大切にしていきたいと思えます。

経緯が見つからないので、承知していない。

坂井孝次議員 十年ひと昔から、わからないというのには理解できる。ところで邑楽町開発計画審議会の報告書に「国道の有効利用が多くなり、開発ができないため優良農地とはどのようなものか。」とあるが、この

産業振興課長 優良農地は、10ヘクタール以上のまとまりのある農地や土地改良事業、水利施設の整備または圃場の区画整理等行ったことよって、生産性が向上した農地のことである。

坂井孝次議員 私が気になるのは、優良農地という言葉の中に「農地法」という法律で、対応し切れない難しさがある。それ故、長い間結論を得ないまま、ここまで来たと理解している。しかし今、国道354号は大泉町まで開通し、3月には国道122号までつなが

る。それによって、北関東自動車道へのアクセスが非常によくなる。邑楽町は、元気になる条件を持ったと考えている。近隣市町を見ればわかるとおり、千代田町・大泉町・太田市・伊勢崎市・前橋市には、幹線道路沿線添いに大きな店舗が複数誘致され、活力を感じる。この機会に354号沿線の開発をもう一度見直すという考えはないのか。

今、最後のチャンスである。議会で提案されれば、町長は一生懸命に取り組みつもりがあるのか。

見直しの時期

町長 その当時と今を比較すれば、道路のアクセス完成度は大変進んでいる。したがって、議員の指摘されるように、そのところを有効に活用したいと思っ

介護保険について

塩井早苗議員 平成25年度 邑楽町介護保険特別会計予算は、12月補正が可決され、17億1578万円となった。当町だけでもこれほどの額を必要としているが、これで生活を維持し、多くの高齢者とその家族が助けられている。これを持続可

能なものにしなければならぬ。介護予防について、町の政策と参加状況は、**町長** 要介護、要支援状態になるおそれのある高齢者を対象とした2次予防事業と、全ての高齢者を対象とした1次予防事業がある。「ますます元氣教室」は20

回で参加者延べ416人。行政区のサロン等の支援事業は20行政区が行い、参加者1525人。「介護予防サポート養成講座」が59人。2次予防事業では運動機能や口腔機能の向上、栄養改善、認知症の予防対策等の事業を行っている。運動機能では「足腰筋力アップ教室」が対象者555人中参加者44人。「口腔の健康教室」では対象者388人中参加者28人。「元氣応援団」は対象者24人中22人である。参加者が大変少ない。

今後、町ではPRも含め、積極的に進めていきたい。

塩井早苗議員 介護予防は機能回復訓練が重要なことではあるが、高齢者本人へのアプローチだけでなく、生活環境の調整や地域の中に役割を持つて生活できる居場所と出番づくりなど、高齢者本人を取り巻く環境づくりが重要である。地域においては、リハビリ専門職を生かした自立支援の取り組みが必要である。今後、要支援の高齢者が介護保険

から外れた場合、どのような準備をしているか。**町長** 現在は、委託事業として町内に社会福祉法人が2カ所ある。「よつていがっせ」という名称で週3回、平成24年度実績で249日開催し、参加者が1942人。地域で行う「サロン活動」も充実をさせる。また、寿荘では民生委員が中心となり、第2・第4水曜日に「みちくさ広場」というサロンを行っている。これらを行

政として支援していく。

塩井早苗議員 要支援者が介護保険から外され、市町村にサービス提供を委ねる。市町村単位なのでおのずとサービス内容の不均衡が予測される。邑楽町での包括ケアシステムへの具体的な取り組み状況は、**町長** 現在、館林邑楽地区で、館林邑楽在宅医療・介護ネットが立ち上がっている。町では関係職員がその組織に参加し、職種間での相互理解を深め、よりよい包括ケアシステムを構築するべく研究し検討している。

塩井早苗議員 特別養護老人ホームの入所は、要介護3からとなる。入所できない要介護1、2の方に対する対策は。

高齢者保健
福祉計画で補完

町長 改正が平成29年4月で、来年度は第6期高齢者保健福祉計画を策定する。これらを視野に、十分補完できる形を考えている。

学力テストと

学校教育について

大野貞夫議員 教育基本法における「教育」の理念について、教育長の認識は。

教育長 まず1つ目は、豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成、人づくり。2つ目は、平和で民主的な国家、社会の形成者として心身ともに健康な国民を育てることと考える。

その1つのテーマとして、「豊かな心を持ち、夢に向かって力強く生きる子ども」の育成を目指して、進めたいだけだと思います。

大野貞夫議員 このような中で、学力テスト学校別結果公表の問題が出てきた。今、学校現場の実態はどうなっているのか。

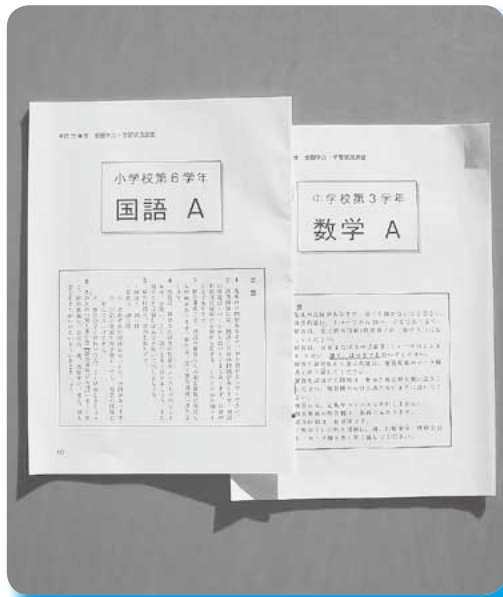
大野貞夫議員 町としての教育行政の指針について。
町長 毎年、教育委員会を中心として教育行政方針を立てている。平成25年度は、

教育長 今、大変忙しい。教育課程も授業数が増え、そのほかに調査がたくさん来る。職員が全て集計をして、求められたところに返

す。以前に比べると教職員にゆとりがないことから、人間関係も希薄になっている。そういう中で、教職員が心の病にかかっているという数も増えている現状がある。

大野貞夫議員 まさに今の現場を象徴していると思う。では「学力」とは一体何か。国際学力調査では、今回、日本が国語で4位、理科で4位、数学で7位。しかし、学習に対する意欲や意義とかは何と60位以下。このギャップは何か。全国学力テストについて文部科学省は「調査結果について個々

の市町村名や学校名を明らかにする公表は行わない」と言ってきた。ところが今回、教育委員会個々の判断において公表することが可能となった。町はこの件に関して、小学6年生と中学3年生の全保護者に対して、教育長名で「全国学力・学習状況調査の結果について」という文章を各家庭に配布した。この中で「過去に行われた調査で、都道府県や市町村内の学校の序列化を生み、子供不在の競争となった苦い経験もあった。この結果を受けとめ、公表については、その反省を生かすことが大切」と書



全国学力・学習状況調査

かれてあった。テストの点数や偏差値、こうした物差しで子どもをはかり、その目標達成を迫るようなやり方が、多くの子どもたちの芽を摘み取ってしまうのではないかと思う。これから先、文部科学大臣の諮問機関、中央教育審議会の答申が出る。大阪府の教育基本条例と非常に似ているが。

豊かな心を育成

町長 教育の目指すところは、豊かな心を育て、心身ともに健康であり、全人格的な人間を形成することであると思う。また、首長がこの執行、教育方針、附属機関等々を判断していくことは、現状では無理である。やはり教育は中立性、独立性のものであると思っ

その他の一般質問
・子ども子育て支援新制度と町行政について

中野幼稚園の環境整備を

小島幸典議員 秋の運動会

等には、お父さんやお母さんをはじめ、おじいちゃんやおばあちゃんも来る。そういう中で、中野幼稚園園庭が非常に手狭になっている。園庭にあるプールを早急に庭にしてみたらえれば、使い勝手がよい庭になると思うが。

町長 園庭が手狭になっていることは、私も十分承知している。利用している皆さんには、大変ご迷惑をかけていると思っている。その原因が、中野小学校で使っているプールに起因するわけである。そのプールを移設することになると、中野小学校の敷地内となる。その移設予定地は、現在NPO法人に3年という期間で行政財産の建物を貸している。今、検討していることは、使い勝手を考えた場合、その期間の終了後にプールの移設を考えてい

る。

小島幸典議員 園児数が1

63人いる。社会状況を考えると、何かイベント云々という場合、おじいちゃんやおばあちゃんと一緒にコミュニケーションがとれるとイベントの大きな力になる。また、駐車場の問題も出てくる。現在の中央児童館が旧中央保育園跡地に移設されると児童館の跡地が空く。そこを駐車場にして、1メートル幅の花壇をその周りにつくり、子ども情操教育として大きなプロジェクトができる。年一回、花祭りを開催し、花に触れ、植物に触れ、お年寄りとの交流を考えて一緒にできればと提案したい。

有効活用を図る

町長 中央児童館跡地の活用はいろいろな使い道が考えられる。有効に活用を図らなければならない。中野幼稚園の駐車場として使用する場合には、園児と職員、地域の皆さん、老人会、ボランティアの方々と一緒に草花等を植えて、地域の環境をよくする方法な

ど大変ありがたい貴重なご意見をいただいた。担当に指示しながら、考えていきたい。

その他の一般質問

- ・町長の財政運営について
- ・町道18号線の早期整備を
- ・町の雇用対策と障害者就業の推進を



園庭内の中野小学校プール

請願

1件の請願が受理され、審議の結果次のとおりになりました。

【採択となった請願】

▼「全国一斉学力テスト」学校別結果公表反対を求める請願

請願者

前橋市大渡町

全群馬教職員組合

代表 石田 清人

意見書

議員提案の意見書1件を可決しました。意見書は関係行政庁に提出しました。

全国学力・学習状況調査の学校別結果公表反対を求める意見書

大阪市教育委員会は10月8日、学校管理規則を、校長は、国が行う全国学力・学習状況調査及び全国体力・運動能力、運動習慣等調査の当該学校における平均正答率及び平均値を含む

議会の動き

11月

- 6日～7日 産業福祉常任委員会視察研修
- 8日 東毛広域市町村圏振興整備組合議会全員協議会
- 13日 全国町村議会議長全国大会
- 19日 全員協議会
- 26日 議会運営委員会
東毛広域市町村圏振興整備組合議会
- 27日 議会広報委員会研修
- 28日 総務教育常任委員会、産業福祉常任委員会
- 29日 全員協議会

12月

- 9日～13日 12月定例会
本会議、議会運営委員会、各常任委員会
全員協議会、広報委員会
- 19日 太田市外三町広域清掃組合視察
- 20日 大泉町外二町環境衛生施設組合議会
- 28日～31日 消防団歳末警戒の督励

1月

- 7日 広報委員会編集会議
- 11日 館林地区消防組合出初め式
- 12日 成人式
- 14日 新年賀詞交歓会
- 15日 長柄幼稚園改築工事起工式
群馬県市町村トップセミナー
- 20日 広報委員会校正会議
- 30日 館林地区消防組合議会

議会を傍聴しましょう

次の議会は、**3月7日から19日**を予定しています。
(開会は原則、午前10時 一般質問は10日、11日を予定)

住所・名前・年齢を受付簿に書くだけでどなたでも傍聴できます。

役場庁舎1階ロビーのテレビにおいても、本会議の様態を中継していますので、お気軽にご覧ください。

議会の会議録（議事等の経過をそのまま記録したものは、図書館、邑楽町公民館、産業研修会館（長柄公民館）、勤労青少年ホーム（ヤングプラザ）に置いてあります。また、ホームページにも会議録全文を掲載していますので、ご覧ください。

URL <http://www.town.ora.gunma.jp/chosei/gikai>

詳しくは、議会事務局まで 88-5511（内線300）

調査結果及び調査結果から明らかにになった現状等を速やかに公表するものとす
る。」と改正しました。
「保護者や地域の人たちに情報を公開することは大事だが、過度の競争や学校の序列化を招かないよう、今年度の実施要領では公表するかどうかは学校の自主的な判断に任せている。大阪市教委の方針は実施要領

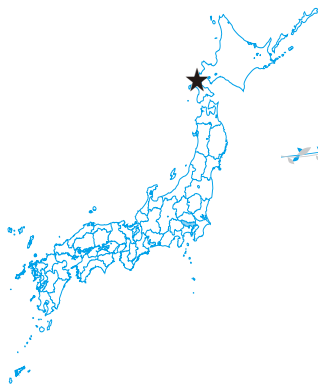
を逸脱している」とコメントした文部科学省も方針転換し、各教育委員会の判断で学校別結果の公表を認める方向で検討を始めています。
国連子どもの権利委員会は、日本政府に対して「過度に競争主義的な環境による否定的な結果を避けることを目的として学校制度および学力に関する仕組みを

再検討すること」との勧告を行つています。学校別結果公表は、学校の序列化や過度な競争を進め、子どもや保護者・教職員を巻き込んだ競争教育をいっそう激化させるものです。テスト中心の教育で子どもたちは追いつめられ、点数を取ることだけが目標となります。学力テストの学校別成績が公表されれば、一人ひと

りの子どもの課題をみつけて、それにあつた授業をするのではなく、学力テストの平均点をあげることを目的に授業をする傾向が強まることは明らかです。テストの成績だけが全てという現在でも問題とされている風潮を、ますます助長させることとなります。それは、子どもたちの成長にとつて望ましいこととは思えません

ん。
よって、邑楽町議会は、国会及び政府に対し、次の事項を実現するよう強く求めます。
「国は、全国学力・学習状況調査の学校別結果の公表を認めないこと」
以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出

わたしのふるさと



【北海道小樽市】

本間 邦彦
(明野・34区)



天狗山より小樽を望む

私のふるすとは、北海道小樽市です。小樽市は道南三都市の一つで、他に札幌市、函館市があります。

小樽で一番の人気は、小樽運河です。赤いレンガ造りの倉庫が並び、その倉庫を利用してガラス工房やオルゴール堂等の工房店が多くあります。そして、昭和を代表するスター石原裕次郎記念館があり、館内には裕次郎さんの数々の思い出の品が展

示されており、懐かしく思い出します。

小樽は、美味しい食べ物もたくさんあり、特にお寿司が評判です。寿司屋通りには多くの寿司店が並び、どのお店も美味しく食べることができます。また、魚介類も人気があり、美味しいですよ。

北海道の観光スポットで有名な道南三夜景の一つに、天狗山から望む小樽市の夜景があります。山頂から見る小樽港や街並み、遠くには石狩湾が広がり、絶景ポイントです。雪降る冬は大変寒いですが、暖くなる5月から9月末頃が一番良い季節だと思います。

日程に余裕のある方は、新潟港より小樽港行のフェリーが出ており、17時間くらいのゆっくりした船旅が楽しめます。

ぜひ一度、小樽に遊びに行ってみてください。

編集後記

あけましておめでとうございます。昨年(2022)も12

月初旬、北国から白鳥が飛来しました。白鳥からも邑楽町は自然に恵まれた住みやすい町と評価されたようです。

12月定例会では、19件の議案が原案通り可決されました。また、一般質問では、8人の議員から広範囲にわたり町の行政運営等についての質問や提案がありました。

広報委員会は、議事の概要を「議会だより」により町民皆様に紹介させていただきます。詳細まではお伝えできません。

白熱した質疑や提案は、ぜひ、議場まで足を運んでいただき、傍聴してご体験ください。

(坂井記)